



薬局通信 第104号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

| 新規試用医薬品 | 新規採用医薬品 | 新規患者限定医薬品 |
|--|--|--|
| ①ダーブロック錠 1mg ②リシノプリル錠 5mg「トーワ」 | ①アミパレン輸液 200mL ②プロウベス腔用剤 10mg ③ゾルゲンスマ点滴静注 | ①クリースピータ皮下注 10mg ②クリースピータ皮下注 30mg ③サワシリン錠 250 ④バスボンサ点滴静注用 1mg ⑤メタルカプターゼカプセル 100mg ⑥エビリファイ散 1% |
| 新規院外専用医薬品 | 採用中止医薬品 | |
| ①デエビゴ錠 2.5mg・5mg・10mg ②アフィニートル分散錠 2mg ③ロートエキス散「ニッコー」 ④キューパール 100 エアゾール ⑤オキサトミド錠 30mg「サワイ」 ⑥バクスミー点鼻粉末剤 3mg ⑦ルムジェブ注ミリオペンHD ⑧カルメロースナトリウム原末「マルイシ」 ⑨ミニプレス錠 1mg ⑩プロプレス錠 8 ⑪アムロジン OD 錠 10mg ⑫フィアスブ注 100 単位/mL ⑬強カネオミノファーゲンシー静注シリンジ 20mL | 【供給停止・販売停止】 ①トラニラスト細粒 10%「トーワ」 ②クロモグリク酸Na 細粒小児用 10%「TCK」 ③ダオニール錠 2.5mg ④ピソルボン錠 4mg 【後発医薬品へ切替】 ①シグマート注 12mg ②リンデロン錠 0.5mg ③テモダールカプセル 20mg・100mg ④イトリゾールカプセル 50 【在庫の不動】 ①ペチロルファン注射液 | |

採用薬品の処方開始は、原則として **2020年1月15日(金)** からなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

・販売中止などにより変更した医薬品 ※ [限]：特定患者使用購入薬、[外]：院外専用薬

| No | 院内採用削除薬 | 理由 | 当院採用薬での代替薬など |
|----|----------------------------|-------|--|
| 1 | ペチロルファン注射液 | 不動薬品 | フェンタニル注射液 0.1mg・0.25mg アルチハ静注用 2mg |
| 2 | シグマート注 12mg | 後発品切替 | ニコランジル点滴静注用 12mg 「サワイ」 |
| 3 | リンデロン錠 0.5mg | | ベタメタゾン錠 0.5mg 「サワイ」 |
| 4 | テモダールカプセル 20mg・100mg | | テモゾロミド錠 20mg・100mg 「NK」 |
| 5 | イトリゾールカプセル 50 | | イトラコナゾールカプセル 50mg 「SW」 |
| 6 | トラニラスト細粒 10% 「トーワ」 | 販売中止 | リザベン細粒 10% |
| 7 | クロモグリク酸 Na 細粒小児用 10% 「TCK」 | | 代替薬なし（先発品：インターール細粒も販売中止のため） |
| 8 | [限] ダオニール錠 2.5mg | | 採用中止 |
| 9 | [限] ビソルボン錠 4mg | | プロムヘキシン塩酸塩錠 4mg 「サワイ」 |
| 10 | [外] ヘロテックシロップ 0.05% | | ベネトリンシロップ 0.04% [外] メプチンシロップ 5μg/mL |
| 11 | [外] ダオニール錠 1.25mg | | 採用中止 |

新規試用医薬品

① ダブブロック錠 1mg 劇薬・処方箋医薬品

（協和キリン株式会社）HIF-PH 阻害薬

一般名：ダプロデュスタット

採用理由

エリスロポエチン注射に代わる、腎性貧血の新しい治療薬であり、貧血管理の向上、疼痛の除去といった点で優れるため。

効能効果

腎性貧血

用法用量

赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合の本剤投与開始の目安は、保存期慢性腎臓病患者及び腹膜透析患者ではヘモグロビン濃度で 11g/dL 未満、血液透析患者ではヘモグロビン濃度で 10g/dL 未満とする。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：新医薬品のため 14 日（2021/09/01（予定）まで）

薬価：105.⁴⁰円/錠

② リシノプリル錠 5mg「トーフ」 処方箋医薬品

(東和薬品株式会社) 持続性 ACE 阻害剤

一般名：リシノプリル水和物

採用理由

IgA 腎症が ドラッグが 2020 年にアップデートされ、重症例に対して ACE 阻害薬が挙げられたため。

効能効果

- ① 高血圧症
- ② 下記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が認められない場合
慢性心不全（軽症～中等症）

用法用量

① 高血圧症

通常、成人にはリシノプリル（無水物）として 10～20mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、重症高血圧症又は腎障害を伴う高血圧症の患者では 5mg から投与を開始することが望ましい。

通常、6 歳以上の小児には、リシノプリル（無水物）として、0.07mg/kg を 1 日 1 回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

② 慢性心不全（軽症～中等症）

本剤はジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤と併用すること。通常、成人にはリシノプリル（無水物）として 5～10mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、腎障害を伴う患者では初回用量として 2.5mg から投与を開始することが望ましい。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：10.¹⁰円/錠